

第24回総合学術研究集会 in 大阪

新型コロナウイルス・気候危機下の科学と社会 —脱炭素・脱原発・脱貧困を求めて—

2022年11月19日(土)～12月11日(日)

会場：大阪大学とオンライン(参加無料)

主催：日本科学者会議

サーキュラー・詳しい案内：<https://jsa.gr.jp/05event/sougaku.htm>

特別報告(全体会1～3)

- 11月19日(土) 下田 正(大阪大学名誉教授) 「戦争と平和—核兵器の開発の歴史を中心に」
11月19日(土) 中川敬介(岐阜大学応用生物科学部准教授) 「コロナウイルスと One Health」
12月11日(日) 浅岡美恵(京都弁護士) 「気候危機と人権」

分科会

- | | |
|--|---|
| A 戦争のない平和な時代を拓く | D 科学・技術の現状批判と課題 |
| A1 国際社会における平和と人権～ウクライナ侵攻が突きつける国際問題研究の新たな課題 | D1 自然科学の進展を俯瞰する |
| A2 戦争と平和をめぐる科学者の社会的責任、市民との共同 | D2 科学技術の現状批判 ー日本の科学・技術の健全な発展のための課題 (part14) |
| A3 「ウクライナ侵略戦争」が起きて—改憲阻止の闘い方と戦争廃絶の方策を語ろう | D3 科学技術サロンー日本の科学・技術の現状とロマンを語る(part15) |
| A4 ロシアのウクライナ軍事侵攻—2022年 | D4 加速する科学・技術の進展とその社会実装について考える |
| B 地球環境の危機的状況の克服、原発問題の解決、防災・減災、災害復興 | E 学術研究体制の危機と大学・研究機関、研究者の権利・社会的責任 |
| B1 気候危機に立ち向かうー自然エネルギーと省エネの社会に向けて | E1 経済安保法と国際卓越研究大学法は、学問の自由と大学の自治に何をもちたらすのか |
| B2 再生可能エネルギーと健康・環境影響 | E2 いま改めて研究者の権利・地位と倫理を考える |
| B3 脱原発への課題と展望 | E3 持続可能な高等教育を考える |
| B4 原発ゼロの会10年の取り組みから | F 個人の尊厳、ジェンダー平等、多様性の尊重 |
| B5 避難の権利—原発訴訟2022年 | F1 社会的ひきこもり・不登校 |
| B6 公害・環境問題の現在 | F2 社会的ひきこもり・不登校を語る(当事者、経験者歓迎) |
| B7 大阪から公害をなくす会50年の取り組みから | F3 学校における学びの保障を考える |
| B8 リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流(part6) | F4 現在の情勢をジェンダー視点から考える |
| B9 災害分科会 | G 市民社会、その他 |
| C 人間らしい労働、暮らしを守る経済、地域社会の再生 | G1 アメリカの現状と今後を考える |
| C1 新型コロナウイルス感染症をめぐる現状と課題 | G3 市民と科学者を結ぶ雑誌『日本の科学者』の歴史的役割と展望 |
| C2 日本の食と農を考える | G4 高校生と一緒に考える大阪の未来 |
| C3 オセアニア海洋文化とモンゴル遊牧文化から SDGs を考える | G5 モンゴルにおける言葉と文化の21世紀 |
| C4 労働者の権利擁護と全国一律の最低賃金の大幅引上げ | G6 転換期における抵抗運動の論理 |

注:分科会発表申込締切は7月30日でしたが、分科会日程のホームページ発表が7月20日でしたので、発表申込を8月末まで受け付けることにします。

全体会・分科会日程

月/日(日)	9:30~12:00	13:00~15:30	15:45~18:15	18:30~20:00
11/19(土)	A1	全体会1	全体会2	予備
11/20(日)	B3 B8	B8	B8	予備
11/21(月)			G4(15:10~)	
11/22(火)			C3(16:50~)	
11/23(水)	C1 E3	B1 D3	B1 D3	G5(19~)
11/26(土)	B4 F3	B4 D2	B4 D2	予備
11/27(日)	B9 C4	B2 B6 C4	B6	予備
11/28(月)			B5(16:50~)	
11/29(火)			C3(16:50~)	
12/3(土)	D1 G6	C2 G3	A3 E2	予備
12/4(日)	B7 E1	B7 F1	B7 F2	予備
12/9(火)			A4(16:50~)	
12/10(土)	F4	D4 G1	D4	予備
12/11(日)	A2	A2	全体会3	予備

注：G4(15:10~)は、時間変更の可能性あります。